

経営方針

サステナビリティ経営

地域経済の活性化

安心・安全・便利な金融サービスの提供

金融リテラシーの向上

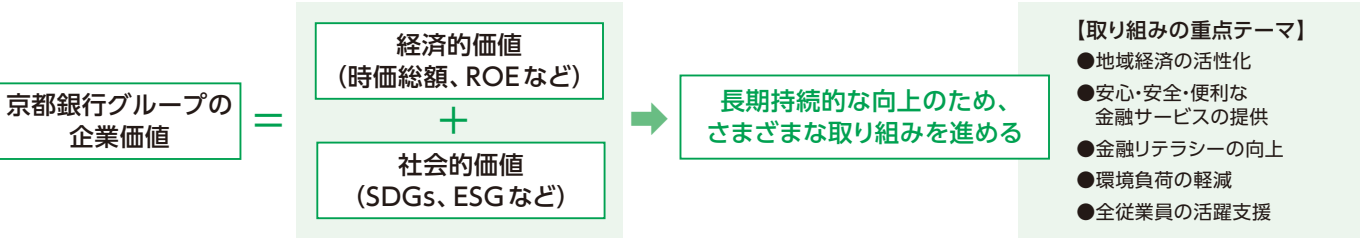
環境負荷の軽減

全従業員の活躍支援

サステナビリティ経営 (SDGs) についての考え方

京都銀行グループは、経営理念「地域社会の繁栄に奉仕する」のもと、創立以来、地域社会とともに歩む地域金融機関として、地域の社会的課題や環境問題の解決に取り組み成長してまいりました。

「経営理念のより一層高いレベルでの実践」と位置付けるサステナビリティ経営を推進し、持続可能な社会の実現に向けた具体的な取り組みを進めることで、当行の経済的価値と社会的価値を高め、長期持続的に企業価値を高めてまいります。

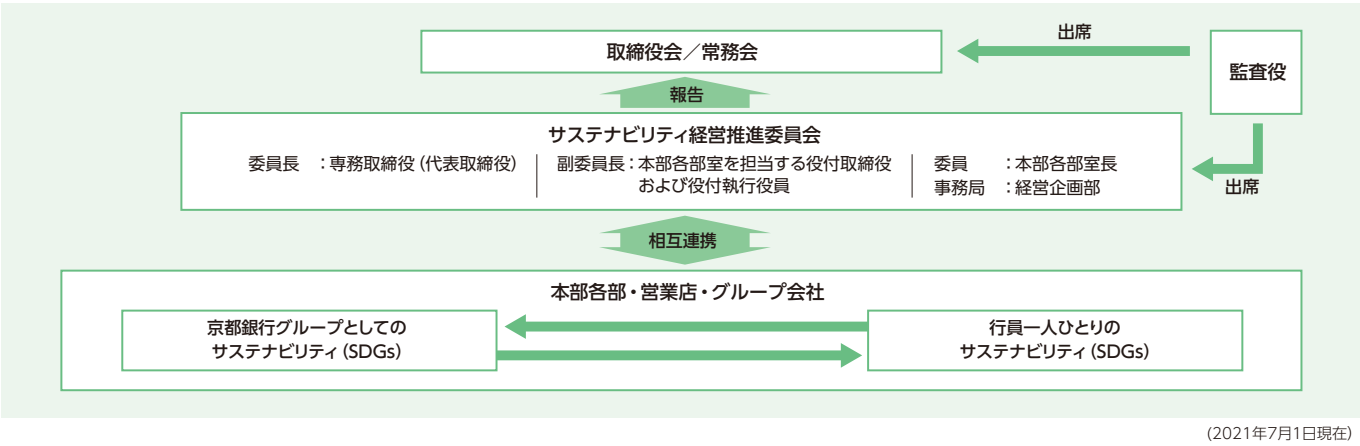


推進体制等

サステナビリティ経営推進にあたり、経営課題への対応強化を図るため、2021年1月に「サステナビリティ経営推進委員会」を設置しました。当委員会ではSDGs・ESGを含むサステナビリティ関連諸課題に対する取り組みに関する

重要事項や社会的課題・環境問題の解決に向けた社会貢献活動・CSR活動に関する重要事項などを審議し、当行全体での取り組みを推進してまいります。

【京都銀行グループのサステナビリティ経営推進体制】



(2021年7月1日現在)

株主・投資家のみなさまとのコミュニケーション

当行は、株主・投資家のみなさまとの対話の機会を重視しており、建設的な対話を促進する、積極的な情報開示とコミュニケーションに努めております。

また、こうした対話の中で把握したみなさまからのご意見は、取締役会に報告しております。

【2020年度実績】	
株主総会	6月26日開催
機関投資家・証券アナリスト向け	決算説明会 (12月・東京)
個人株主・個人投資家向け	個別面談 のべ46社 会社説明会 (3月・オンライン形式)
情報提供	統合報告書 (7月)
	ミニディスクロージャー誌 (6月・11月)
	アニュアルレポート (9月)

持続可能な社会の実現に向けた投融資方針の策定

地域金融機関には、融資・投資といった資金供給機能を通じて、社会に働きかけるといった社会的使命があります。当行は、これまでも経営理念のもと、投融資を通じて地域社会の課題解決に資する役割を果たしてまいりましたが、当行の取組姿勢をあらためて表明し、一層の取組推進を図るため、2021年1月に「持続可能な社会の実現に向けた投融資方針」を策定しました。

本方針では、石炭火力発電事業などへの投融資を抑制することで「ネガティブな影響の低減・回避」に取り組むとともに、「地域企業の創業・イノベーション創出・成長に向けた支援」や「環境問題の解決に向けた支援」などの「ポジティブな影響の増大・創出」に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

持続可能な社会の実現に向けた投融資方針の詳細については当行 HP をご覧ください。

サステナブルローンの取り扱いを開始

お客さまのSDGs・ESG経営をサポートし、お客さまのさらなる発展と持続的な社会の実現を目指す、3種類の融資商品の取り扱いを開始しました。お客さまのサステナビリティに関する取り組みをサポートするとともに、各種基準に準拠した内容であることの外部機関評価を取得するスキームとすることで、お客さまが自社の取り組みをステークホルダーへ訴求することも可能となっております。

名称	京銀サステナビリティ・リンク・ローン	京銀ソーシャルローン 京銀グリーンローン
特徴	お客さまのESG戦略と整合した取組目標を定め、達成度合いに応じて金利引き下げ等のインセンティブを設定。	社会的課題解決（ソーシャル）や環境改善（グリーン）の各種原則に基づいた適格プロジェクトを対象とする。

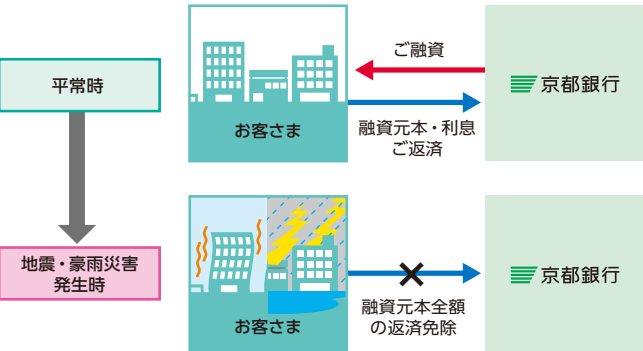
災害リスク対応サポートの取り組み

あらかじめ指定した観測地点において、一定以上の地震や豪雨が観測された場合、借入金の元本全額が返済免除となる特約付き融資を取り扱っております。お客さまは自然災害リスクへの対策や事業継続計画 (BCP) の一環としてご利用いただくことができます。

【取組実績】(累計)

震災時元本免除特約付き融資 (2019年4月～)	172件	8,560百万円
豪雨災害時元本免除特約付き融資 (2020年11月～)	6件	200百万円

(2021年3月末)



寄付型商品を活用した地域貢献の取り組み

お客さまから受け取る手数料の一部を利用して寄付・寄贈をおこなう、京銀SDGs私募債（「未来にエール」、「医療にエール」）を通じ、資金を調達されるお客さまと当行が一体となって地域に貢献する取り組みを進めております。

また、2021年1月からは、企業版ふるさと納税制度を活用したESG投資ファンドの取り扱いを開始しました。

【取組件数および寄付金額】(累計)

「未来にエール」 (2015年9月～)	669件	71百万円
「医療にエール」 (2020年5月～)	80件	8百万円

(2021年3月末)

環境負荷軽減の取り組み

当行は、2008年に「環境にやさしい銀行」を目指す「環境方針」を制定し、電気・ガス・ガソリンの各使用量削減を目指す「環境プラン」のもと、環境負荷の軽減に取り組んでまいりました。

従来の取り組みを継続すると同時に、カーボンニュートラル社会を目指し、これまで以上に踏み込んだ施策を盛り込んだ計画の策定に取り組んでおります。



【第三次環境プランの結果】

＜設定目標＞電気・ガス・ガソリンの2016年度対比で毎年度1%以上を削減。
＜結果＞新設店舗を設置している中（172か店⇒174か店）、各目標を達成。

	2016年度 (基準年度)	2017年度	2018年度	2019年度
電気使用量（千kWh）	23,962	23,481（▲2.0%）	22,444（▲6.3%）	20,168（▲15.8%）
ガス使用量（千m ³ ）	488	481（▲1.4%）	459（▲5.9%）	425（▲12.9%）
ガソリン使用量（千ℓ）	416	399（▲4.0%）	382（▲8.1%）	376（▲9.6%）

（ ）内は2016年度対比

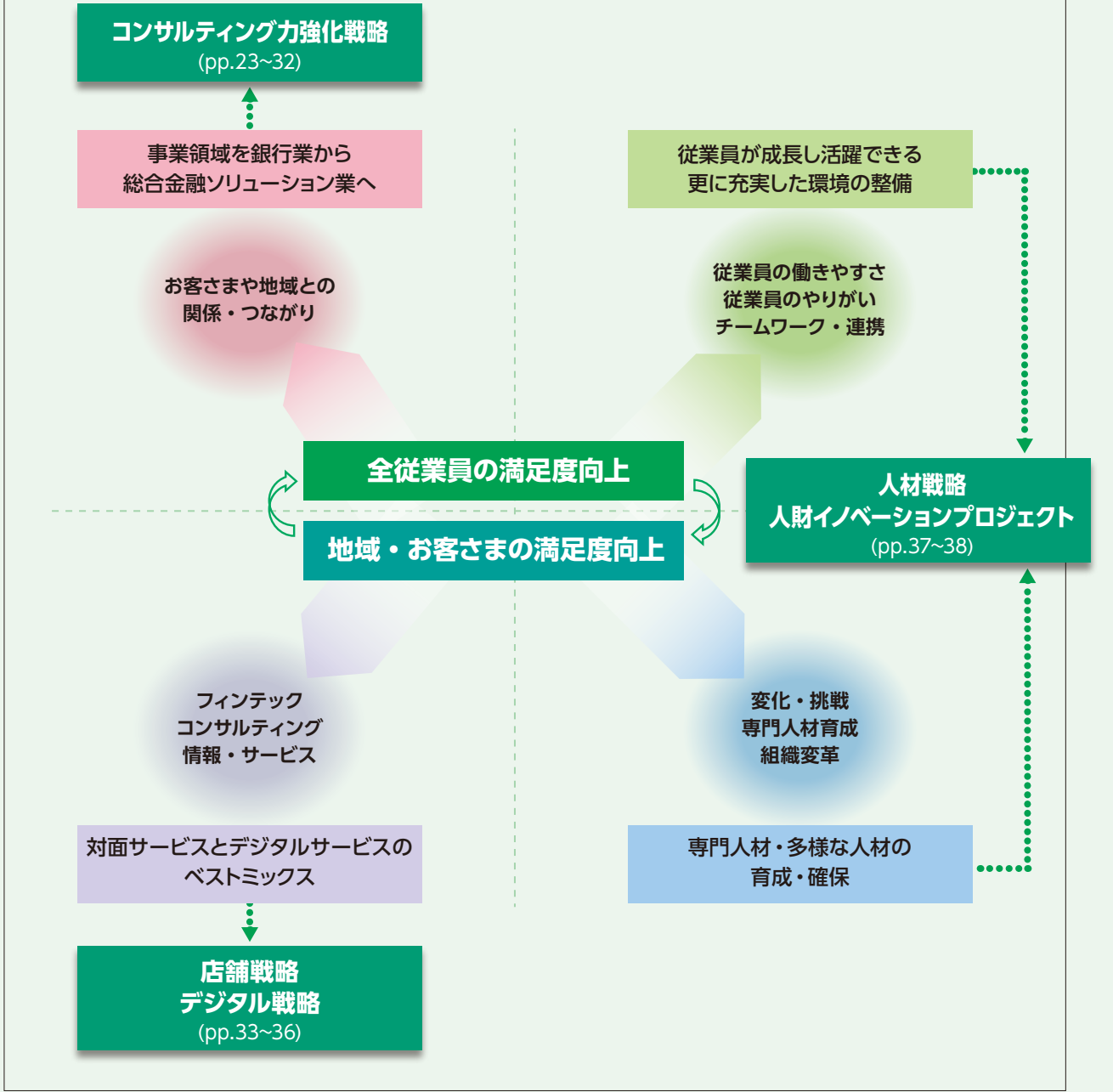


当行の事業活動を通じたサステナビリティについてはp.23以降もご覧ください。

第7次中期経営計画について

「4,000人全員で考える『京都銀行未来ビジョン』」により再確認した、「将来のありたい姿」の実現に向け、第7次中期経営計画の4つのメインテーマを策定いたしました。
このメインテーマに基づく各戦略に、当行役職員一人ひとりのおもいを込めて取り組んでおります。

当行役職員のおもい：「全従業員の満足度向上」と「地域・お客さまの満足度向上」
～ともに創る。地域の未来を～



各戦略については次ページより説明いたします。▶▶▶